

令和6年神崎市

はたち 二十歳のつどい



自覚ある大人に 親から子へ

成人まで育ててくれてありがとう！言葉では簡単だけど感謝しきれないくらい感謝しています！
これからは育ててもらった親、家族、友達に感謝しながら立派な大人になって楽しませたいと思うるので、もう少し、応援してください！

筒井太陽さん
たいよう

成人おめでとう🎉
4人兄弟の末っ子で筒井家最後の成人式・二十歳のつどい、無事迎える事が出来て一安心です。
太陽がいてくれて良かったと思ってもらえるような人になってください。
無茶せず、太陽らしい人生をこれからも、ENJOYしてね😊

母 筒井直美さん
なおみ



子から親へ 感謝つなぐ言葉

自分を産んでくれて、そしてここまで育ててくれてありがとう！本当に感謝してます！じいじばあばになったら次は自分がお世話していくのでその時は感謝してください。

今、夢はないけどいつか夢に向かって突っ走っていくのでまた背中を押してください。

最後に、普段は言わないけど父ちゃん母ちゃん大好きだぜ！

福井一咲さん

いつも、優しい一咲。これからも、その気持ちを大切に素敵な大人になっていってね。

成人、おめでとう！

母 福井絵里さん



11/7 3小中校で租税教室開催 税の役割と必要性を学ぶ

生徒、児童に税の意義や役割を正しく理解してもらい、税に対する知識を深めてもらおうと、脊振中学校、脊振小学校、西郷小学校で租税教室を開きました。

授業では市職員が講師となり、税の役割と必要性を学んでいくアニメーションの鑑賞や、1億円の使い道を話し合うミニ議会などを行いました。

生徒、児童からは「税金は私たちの生活に必要なもので、無くなると困ることが分かった」などの感想がありました。



11/12 おゆずり会盛況 子育て用品 必要な人へ

千代田町保健センターで神崎市母子保健推進協議会主催のおゆずり会が開催され、妊婦や親子連れなど多数の来場者でにぎわいました。おゆずり会は、家庭で使用しなくなった育児用品を提供いただき、必要な人にお譲りするものです。

当日は、集まったたくさんの洋服やおもちゃ、育児グッズが並び、人気の大型ベビー用品の抽選会もあり盛況に終わりました。

物品を提供いただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。この活動は今後も定期的に行います。



11/19 JAさが神埼地区椎茸部会 県森林・林業・緑化功労者賞を受賞

JAさが神埼地区椎茸部会が、森林・林業・緑化推進に多年にわたり貢献された人をたたえる佐賀県森林・林業・緑化功労者賞（団体の部）を受賞し、SAGAサンライズパークで開かれた表彰式に参加しました。

同部会は、長きにわたって椎茸の原木栽培に取り組まれ、※特用林産物の生産普及に貢献されています。

※特用林産物：森林原野を起源とする生産物のうち一般の木材を除くものの総称。きのこ類や山菜類など。（林野庁 HP より）



12/24 クリスマスにおはなし会 紙芝居やゲーム楽しむ

千代田町姉妹集落センターでクリスマスおはなし会が行われました。「家読姉^{うちどくあね}」が主催し、住民など約30人が参加しました。

紙芝居や絵本の朗読、手遊びなどを楽しんだ後「ジャングルベル」「赤鼻のトナカイ」の歌をみんなで合唱。最後はビンゴゲームで盛り上がりました。

また、昨年まで地区に住んでいたベトナム人技能実習生から届いた近況を報告するメッセージも紹介されました。



12/24 ふれあい広場 in 下直鳥 ゲームや食事で楽しく交流

千代田町下直鳥地区の宅老ちよだひまわり会で「ふれあい広場in下直鳥」が開かれ、地区の子どもから大人まで約50人が参加し交流しました。

子どもたちはたこ焼き作り、的あてゲームを楽しみ、ビンゴゲームでクリスマスプレゼントを受け取りました。

また、たこ焼やカレーなどが振る舞われ、当日は寒い日でしたが、心温まる食事に笑顔があふれていました。

この催しはNPO法人宅老ちよだひまわり会が主催し、地区の協力を得て開いたもので、代表の古川雅子さんは「『困ったときはお互い様、助けられたり助けたり』の輪を広げていきたい」と話しました。



12/27 門前広場 親子連れでにぎわう 杵と臼でのもちつき 笑顔で挑戦

長崎街道門前広場で年末もちつき大会が行われ、親子連れなど約200人が来場しにぎわいました。初めて杵を持った子どもたちも、掛け声を頼りに楽しくもちをつきました。きな粉餅やあん餅、豚汁などが振る舞われ、小学生らの笑顔があふれました。

ものづくりで地域に貢献している森口文博さん（株式会社森博代表取締役）が初めて開催。森口さんは「子どもも大人も笑顔になった。子どもたちが地域の人に相談できる社会の実現を目指したい」と話しました。



1/7 神崎市消防団出初式 伝統の馬簾回しで士気高める

神崎市消防団の出初式が神崎中央公園グラウンドで開かれ、女性隊員8人を含む団員464人が参加し、決意を新たにしました。

式では元日に発生した能登半島地震の犠牲者、神崎市消防団の殉職者に対し黙とうを捧げたあと分列行進が行われました。江頭文則団長は「地域住民の生命と財産を守るのが使命。市民に信頼されるよう日ごろの訓練に励みたい」と訓示しました。

また、伝統の「馬簾回し」が披露され、締め込み姿の団員が支える纏めがけて色とりどりの水が放たれ、団員の士気を高めました。



1/8 王仁公園で新春書き初め大会 新年の抱負、一文字に込め

今年で5回目を迎えた新春書き初め大会が、王仁博士顕彰公園で開かれました。幼児から高齢者まで市民ら約100人が新年の抱負を漢字一文字で書き上げました。

平尾千咲さん（西郷小6年）は、友達に優しく接したいとの思いで、花言葉が「優しさ」の睡蓮から「蓮」の一文字を書きました。弟の健琉さん（同小3年）は、健康が一番と「健」を選びました。書いた文字は有田焼の陶板のキーホルダーにして、後日プレゼントされます。

他にも、神崎高書道部による音楽に合わせて大きな文字を書く書道パフォーマンスもありました。

